

令和7(2025)年度 社会福祉法人あかつき福祉会

【決算書】

社会福祉法人あかつき福祉会

令和7(2025)年度 社会福祉法人あかつき福社会 決 算 書

目 次

【事業報告書】

あかつき福社会の1年	1
1. 全体概要報告	2
2. 法人本部(総務課)	4
3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり	
①就労継続支援B型事業	6
②生活介護事業	8
4. わんすてっぷ	10
5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園	
①園管理運営事業	12
②生活介護事業	14
③施設入浴サービス事業	16
④社会福祉増進事業	17
6. 地域生活総合支援センター	
①共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業	18
②居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業	20
③相談支援事業	22
7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況	24
8. 地域参加・交流状況	27
9. 職員研修実施状況	28
10. 実習生受入状況	29
11. ボランティア受入状況	30
12. 視察・見学状況	31
13. 講師派遣状況	32
14. 役員名簿	33
15. 組織図	35
16. 職員内訳	36

【計算書類】

1. 法人単位資金収支計算書	37
2. 法人単位事業活動計算書	38
3. 法人単位貸借対照表	39
4. 計算書類に対する注記	40
5. 決算附属明細書	43
①固定資産管理台帳、固定資産増減明細表	44
②寄附金収益明細表	48
③補助金事業等収益明細書	49
④事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書	50
⑤基本金明細書	51
⑥国庫補助金等特別積立金明細書	52
6. 社会福祉事業区分	
①資金収支内訳表	53
②事業活動内訳表	54
③貸借対照表内訳表	55
7. 瀬川拠点区分	
①資金収支計算書	56
②事業活動計算書	58
③貸借対照表	60
④計算書類に対する注記	61
〈決算附属明細書〉	63
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	64
②引当金明細書	65
③事業活動明細書	66
④積立金・積立資産明細書	68
⑤就労支援事業別事業活動明細書（多機能型事業所等用）	69
⑥就労支援事業製造原価明細書（多機能型事業所等用）	70
⑦就労支援事業販管費明細書（多機能型事業所等用）	71
⑧事業未収金明細表	72
⑨未収金明細表	72
⑩立替金明細表	72
⑪前払金明細表	72
⑫事業未払金明細表	72
⑬職員預り金明細表	74

8. 西小路拠点区分	
①資金収支計算書	75
②事業活動計算書	77
③貸借対照表	79
④計算書類に対する注記	80
〈決算附属明細書〉	82
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	83
②引当金明細書	84
③事業活動明細書	85
④積立金・積立資産明細書	86
⑤事業未収金明細表	87
⑥前払金明細表	87
⑦事業未払金明細表	87
9. 地域生活総合支援センター拠点区分	
①資金収支計算書	88
②事業活動計算書	90
③貸借対照表	92
④計算書類に対する注記	93
〈決算附属明細書〉	95
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	96
②引当金明細書	97
③事業活動明細書	98
④積立金・積立資産明細書	99
⑤事業未収金明細表	100
⑥未収補助金明細表	100
⑦前払金明細表	100
⑧預り金明細表	100
⑨職員預り金明細表	100
⑩事業未払金明細表	101
10. 財産目録	102

令和7(2025)年度 社会福祉法人あかつき福祉会
事業報告書

社会福祉法人あかつき福祉会

あかつき福祉会の1年 -令和7(2025)年度-

2026年4月



夜桜<支援センター>

5月



ありがとう!あかつき園
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

6月



園外活動(万博記念公園)<ささゆり園>

6月



クリーン・みのお作戦<支援センター>

7月



七夕<わんすてっぷ>

8月



バイオリン演奏会<ささゆり園>

9月



防犯訓練<ささゆり園>



夏のイベント(宝くじ)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

10月



所外活動(六甲山頂)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

10月



ハロウィン<わんすてっぷ>

11月



あかつきまつり



いきいきふれあい広場出店
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

12月



忘年会<あかつき園・ワークセンターささゆり>

2027年1月



初詣<ささゆり園>

3月



外食イベント
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

1. 全体概要報告

(1) 収支状況の改善

【法人本部（総務課）】

ささゆり園が大幅な減収となった一方、あかつき園・ワークセンターささゆりの定員変更に伴う収入増、地域生活総合支援センターの収入が年間通じて堅調に推移したことなどから、法人全体での収支差額は2,136万円（前年度比+1,376万円）であった。

(2) あかつき園建て替え工事中の対応

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

建て替え工事に伴い使用可能エリアが複数回変化するなかで、利用者のストレスを軽減するため、個別ブースの設置、施設内での移動導線の整理、作業室の間仕切り等を行った。日々の活動においても、利用者のストレス軽減のため、農園作業やドライブなど外に出る機会を多く取り入れた。

(3) 利用者確保・収入増への対応

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

年度途中に利用者2名の退所があり、年度末の利用契約者数は21名（前年度比▲2名）となった。

(4) 令和8年度の定員変更・事業変更にむけた調整

【地域生活総合支援センター】

令和8年度より、1グループホーム（第2つながりの家）の定員を4名から5名に、2グループホーム（第5つながりの家、第6つながりの家）を日中サービス支援型GHから介護サービス包括型GHに、事業変更する事前準備・調整を行った。

(5) 相談支援体制の確保

【地域生活総合支援センター】

福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,666件（前年度比+571件）の相談に対応した。また、資格要件を満たす職員1名が「主任相談支援専門員養成研修」を受講し、3月より主任相談支援専門員配置加算を算定できるようになった。

【令和7(2025)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)
2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <指定管理>
【実施事業】①生活介護事業 定員 60名
②就労継続支援B型事業 定員 10名
3. わんすてっぷ
【実施事業】 生活介護事業 定員 15名
4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園 <指定管理(④を除く)>
【実施事業】①園管理運営事業
②生活介護事業 定員 20名
③施設入浴サービス事業
④社会福祉増進事業
5. 地域生活総合支援センター
【実施事業】①共同生活援助事業 定員 28名
(第2つながりの家)
②日中サービス支援型共同生活援助事業/短期入所事業
(第11つながりの家) 定員 8名/1名
③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業
(ヘルパーステーション「ウイズ」)
④相談支援事業
(ウイズ)

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- 令和7年度が現長期計画の最終年度であったことから総括を行い、3月理事会で承認を得るとともに、令和8年度からの新長期計画案を作成し同理事会に報告した。
- ささゆり園が大幅な減収となった一方、あかつき園・ワークセンター ささゆりの定員変更に伴う収入増、地域生活総合支援センターの収入が年間通じて堅調に推移したことなどから、法人全体での収支差額は2,136万円（前年度比+1,376万円）であった。

※上記収支差額には、支援センター棟解体に伴う補償金や解体費用・処分損等を含まない。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	ICT活用の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○AIを活用した記録やブログ作成などに取り組んだ。 ○あかつき園・ワークセンターささゆりで、日々の支援記録の一部をタブレット等で記録する運用に取り組んだ。
2	BCP・災害対応体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○6月に外部講師を招聘してBCP研修・訓練を実施し、当福社会職員15名に加えて近隣4法人7名の職員が参加した。 ○5月から7月にかけて賞味期限が近づいた非常食の入れ替えを行い、非常時を想定して実際に非常食を調理する訓練・食べてみる訓練も合わせて実施した。
3	虐待防止・サービス向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○虐待防止セルフチェック（8月・2月）及び虐待防止・サービス向上委員会（9月・3月）を、各年2回継続的に開催した。 ○虐待防止研修を12月から1月にかけて実施し、派遣・登録含め117名が受講した。 ○7月から2月にかけて4つのグループで事例検討会を開催し、検討・実施結果を3月の経営企画会議で報告・共有した。 ○他施設で発生した事故や虐待事案をコンプライアンス関連情報として、四半期ごとに、職員に報告・周知を行った。
4	現長期計画の総括と新長期計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ○長期計画PTを3カ月ごとに開催して、進捗状況や課題を確認した。 ○令和7年度が現長期計画の最終年度であったことから総括を行い、3月理事会で承認を得るとともに、令和8年度からの新長期計画案を作成し同理事会に報告した。
5	人材確保・定着、育成	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネット求人等を活用して募集活動を行い、支援職員3名・臨時職員6名を採用した。また、正規職員の募集活動にも取り組み、令和8年4月から3名を採用することとなった。 ○ハローワークを通じた応募者が大幅に減少していることから、人材派遣会社を通じて継続的に派遣職員の確保・受入を行った。 ○障害福祉関連のeラーニングコンテンツを使い、各部門・チームにおいておおよそ月1回ペースで部門内研修会の実施に取り組んだ。
6	地域交流の促進・広報活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○11月1日に「あかつきまつり」を開催した。あかつき園建て替え工事の関係で限られたスペースでの開催となったが、近隣地域から252名の来場者があった。 ○6月「クリーン・みのお作戦」、9月「西南ちいきみんな食堂」、11月「いきいきふれあい広場」、12月「みんなおいでよ運動会」などの地域イベントに参加した。 ○大阪市の御堂筋沿いで開催される大阪ガスネットワーク(株)・Daigasグループ“小さな灯”運動主催の「ふれあいバザー」にも計3回出店し、野菜・さをり製品・指編み製品の販売や指編みワークショップを行った。 ○ブログを年99回（月平均8.3回）更新した。 ○広報誌「あかつきだより」を年4回、3カ月ごとに発行し、利用者家族や関係機関のほか近隣46自治会にも配布・回覧を行った。

7	収支状況の改善	<p>○あかつき園・ワークセンターささゆりの生活介護事業は、利用率の向上及び定員区分変更に伴う報酬単位増、さらには指定管理料の増額により収支差額は+652万円（前年度比+805万円）となった。</p> <p>○ささゆり園の生活介護事業は、利用者2名の退所など大幅な減収となったが、指定管理料の増額や職員未確保に伴う人件費減などの結果、収支差額は144万円（前年度比+1,219万円）となった。</p> <p>○地域生活総合支援センターは、グループホーム・居宅介護・移動支援の利用が堅調に推移したこと、相談支援の利用者が増加したことから収支差額は1,562万円（前年度比+508万円）となった。</p> <p>○これらの結果、法人全体での収支差額は2,136万円（前年度比+1,376万円）であった。※支援センター棟解体に伴う補償金や解体費用・処分損等を除く。</p>
8	経営基盤の強化	<p>○あかつき園建て替えに関する箕面市との協議を行った。</p> <p>○新あかつき園・ワークセンターささゆりの令和10年度からの指定管理者の公募が3月に開始された。4月の応募に向けて、応募書類の作成、収支の試算、提案する指定管理料の算定、事業運営に関する提案内容の検討等を行った。</p>

(3) 今後について

- 新あかつき園を含めた瀬川地区再編について、引き続き箕面市と協議・対応していく。
- 新長期計画(令和8年～12年度)のもと新たな取り組みを進めていく。
- 法人全体および各事業の収支改善に引き続き取り組んでいく。

(4) 理事会・評議員会等開催状況

理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 7年 6月 4日 ・第2回 令和 7年 6月24日 ・第3回 令和 7年 9月 9日 ・第4回 令和 7年12月12日 ・第5回 令和 8年 3月23日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 令和6(2024)年度決算 など 案件 = 理事長の選定 など 案件 = 定款の一部変更 など 案件 = 評議委員会の召集 など 案件 = 令和8(2026)年度事業計画及び予算 など
評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 7年 6月24日 ・第2回 令和 7年 9月 9日 ・第3回 令和 7年12月22日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 令和6(2024)年度決算 など 案件 = 定款の一部変更 案件 = 役員辞任及び選任
評議員選任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 7年 6月 4日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 評議員の選任
運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 7年 6月 2日 ・第2回 令和 8年 3月23日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 令和6(2024)年度決算 など 案件 = 令和8(2026)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- 前年度に続き、大阪ガスネットワーク(株)・Daigasグループ“小さな灯”運動の「ふれあいバザー」に参加して、大阪市の御堂筋沿いでの販売・接客に取り組んだ。
- あかつき園建て替え工事を受けて、敷地内に設置した倉庫やクリーンセンターへのごみ袋在庫の移送・保管を行うなど、置き場の確保に取り組んだ。
- あかつき園建て替え工事期間中も、シェア事業所と情報交換を行いながら、製品・材料の受け渡しを円滑に進めた。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	所外活動等の活動充実化	<ul style="list-style-type: none"> ○春にダムパークいばきたへ、秋に金魚ミュージアム(ミ・ナーラ)へ所外活動を実施した。 ○前年度に続き、大阪ガスネットワーク(株)・Daigasグループ“小さな灯”運動の「ふれあいバザー」に参加して、大阪市の御堂筋沿いでの販売・接客に取り組んだ。 ○4月に春のイベントとして「マクドナルドを食べながら敷地内最後の花見」、3月に冬のイベントとして「外食をしよう(ジョリー Pasta)」を実施した。
2	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○箕面市障害者事業団での体験実習として、花壇管理・植物リースに2名が延べ20日間(前年度1名・延べ10日間)参加するとともに、喫茶部門にも2名が延べ19日間(前年度2名・延べ18日間)参加した。 ○いきいきふれあい広場に参加して、出店時の接客(商品とお金の受け渡し)などに取り組んだ。 ○作業の幅を広げるため「指編み」の作業を新たに提供した。材料の色選び、編む形選び、編む工程などの取り組みを行うとともに、バザーに出店し作成した商品を利用者自身で販売した。
3	現長期計画の未達成項目の取り組み	○春と冬に買い物と外食イベントを実施した。
4	製袋事業の安定的な運営、在庫数の調整	<ul style="list-style-type: none"> ○あかつき園建て替え工事を受けて、敷地内に設置した倉庫やクリーンセンターへのごみ袋在庫の移送・保管を行うなど、置き場の確保に取り組んだ。 ○あかつき園建て替え工事期間中も、シェア事業所と情報交換を行いながら、製品・材料の受け渡しを円滑に進めた。
5	虐待防止・サービス向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○8月の虐待防止セルフチェックで結果が低下した項目について、ミーティング等で意識付けを継続的に行い、2月のセルフチェックでは結果に改善に繋がった。 ○12月～1月、事例をもとにして職員間で検討・議論するかたちで虐待防止研修を実施した。 ○施設内での健康診断(7月)、歯科検診(10月)、インフルエンザ予防接種(12月)をそれぞれ実施した。
6	感染症対応の継続	○11月に感染症認定看護師による感染症対策研修を実施した。支援現場での感染症対策の取り組みに関する講義と実技による指導を受けた。研修のなかで、従来の感染症対策に問題がないことが確認できた。
7	利用率向上・収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○平均利用率は94.7%(前年度比+0.4ポイント)となった。 ○訓練等給付費収入は1,104万円(前年度比▲2万円)となった。
8	新規利用者の確保	○相談支援事業所を通じて複数の相談はあったが、通所利用までには至らなかった。

(3) 今後について

- 国際情勢（ナフサ価格高騰等）の影響やあかつき園建て替え工事が進むなかで、製袋事業の安定運営に向けて、仕入事業者や配送事業者、作業シェア事業所、箕面市などと引き続き調整・協議を行っていく。
- 新規利用者の確保に向けて、相談支援事業者や支援学校等との連携強化を図っていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和6年度	令和7年度
箕面市指定ごみ袋の生産	87,019,571円	97,583,814円
館内清掃	100,000円	100,000円
指編み製品の生産・販売	0円	20,520円
ペットシャンプーボトル詰め替え	88,770円	45,540円
その他物品販売	0円	998,604円
計	87,208,341円	98,748,478円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額（特別工賃を含んで換算）

令和6年度	令和7年度	前年度比
15,763円	12,698円	80.6%

②施設外支援

実習先	参加人数（実数）	参加延べ日数	職 種
箕面市障害者事業団	2名	20日	緑化部門（花壇管理等）
	2名	19日	喫茶部門

③その他の活動

- 健康活動（ラジオ体操、ウォーキング、ダンス等）
- 創作活動（手芸、ラミネート創作、絵画等）
- 社会活動（御堂筋バザー、ふれあいバザー、地域清掃等）
- 所外活動（ダムパークいばきた、金魚ミュージアム）

(5) 在籍者状況（令和8年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和7年度	6名	34.7歳	16.7年	94.7%	5.7名
令和6年度	6名	33.7歳	15.7年	94.3%	5.7名

令和7年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	3名	3名	0名	0名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり 〈生活介護事業〉

(1) 概要

- 建て替え工事に伴い使用可能エリアが複数回変化するなかで、利用者のストレスを軽減するため、個別ブースの設置、施設内での移動導線の整理、作業室の間仕切り等を行った。
- 日々の活動においても、利用者のストレス軽減のため、農園作業やドライブなど外に出る機会を多く取り入れた。
- 利用率の向上及び定員区分変更に伴う報酬単位増、さらには指定管理料の増額により、介護給付費収入は1億8,097万円（前年度比+429万円）となり、収支差額は+652万円（前年度比+805万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	関係機関との連携強化	○モニタリングや担当者会議を通じ、利用者の生活全般を取り巻く環境・課題を把握するとともに、サービス提供事業者と連携して、施設入浴・ヘルパー派遣・訪問看護・日常生活用具の作成等について、利用者・家族に提案した。
2	所外活動等の活動充実化	○春と秋の年2回、所外活動を実施した。ダムパークいばきた、みよしの里BBQ、須磨シーワールド、天王寺動物園等遠方への外出を行い、オルカショーの観覧や、バーベキュー等の現地でのイベントも多く取り入れた。
3	現長期計画の未達成項目の取り組み	○ボランティアによるイベントとして、クリスマスコンサート（演奏会）を実施した。 ○業務マニュアルの点検を行い、改訂の有無に関わらず、点検・改訂の検討状況を記録した。
4	利用者の生活環境の調整、チーム編成の検討・実施	○建て替え工事に伴い使用可能エリアが複数回変化するなかで、利用者のストレスを軽減するため、個別ブースの設置、施設内での移動導線の整理、作業室の間仕切り等を行った。 ○日々の活動においても、利用者のストレス軽減のため、農園作業やドライブなど外に出る機会を多く取り入れた。
5	虐待防止・サービス向上の取り組み	○8月の虐待防止セルフチェックで結果が低下した項目について、ミーティング等で虐待防止等の意識付けを継続的に行うことで、2月の同セルフチェックでは結果を改善することができた。 ○12月～1月、事例をもとにして職員間で検討・議論するかたちで虐待防止研修を実施した。 ○利用者対象の施設内での健康診断（7月）、歯科検診（10月）、インフルエンザ予防接種（12月）をそれぞれ実施した。
6	感染症対応の継続	○11月に感染症認定看護師による感染症対策研修を実施した。支援現場での感染症対策の取り組みに関する講義と実技による指導を受けた。研修のなかで、従来の感染症対策に問題がないことが確認できた。
7	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○平均利用率は92.1%（前年度比+1.0ポイント）となった。 ○利用率の向上及び定員区分変更に伴う報酬単位増、さらには指定管理料の増額により、介護給付費収入は1億8,097万円（前年度比+429万円）となり、収支差額は+652万円（前年度比+805万円）となった。

(3) 今後について

- あかつき園建て替え工事中も、利用者が安心して過ごし、活動や作業に取り組めるよう環境整備に取り組んでいく。
- 建て替え後のチーム編成や支援体制などを検討し、スムーズな新施設への移行を目指していく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和6年度	令和7年度
箕面市指定ごみ袋の生産	1,440,000円	1,320,000円
農園芸	564,875円	404,662円
さをり製品の生産・販売	100,434円	35,840円
指編み製品の生産・販売	17,400円	17,920円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	120,879円	109,475円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	2,643,588円	2,287,897円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃

令和6年度	令和7年度	前年度比
666円	716円	107.5%

②その他の活動

- 健康活動（機能維持訓練、ダンス、ストレッチ、ウォーキング等）
- 日常生活・社会適応訓練（外出を伴うものは実施なし）
- 創作活動（書道、手芸、季節の壁面飾り等）
- 文化活動（音楽療法、音楽活動、音楽・DVD鑑賞、紙芝居等）
- 所外活動（ダムパークいばきた、みよしの里BBQ、須磨シーワールド、天王寺動物園）

(5) 在籍者状況（令和8年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和7年度	59名	35.4歳	16.4年	92.1%	53.9名
令和6年度	60名	34.4歳	15.4年	91.1%	54.1名

令和7年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	34名	19名	6名	0名	0名	0名

4. わんすてっぷ<生活介護事業>

(1) 概要

- 利用者の平均年齢が59.4歳と徐々に高齢化が進むに伴い、入院や家庭環境の変化が生じた場合において関係先と連携のうえ対応した。
- 利用者の私的理由による欠席や退所により平均利用人数は7.8名（前年度比▲1.1名）となった。介護給付費収入は2,344万円（前年度比▲250万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	家族・関係機関との連携	○利用者や家族の高齢化に伴い、利用者の健康状態や家庭環境の変化等について、家族や関係事業者と情報共有・意見交換を行いながら支援した。
2	利用者状況・生活環境の的確な把握	○利用者の身体状況や家庭環境の変化をふまえ、正しい利用者基礎情報を把握するよう努め、対応した。 ○利用者の平均年齢が59.4歳と徐々に高齢化が進むに伴い、利用者の状況や家庭環境の変化が生じた場合において関係先と連携のうえ対応した。
3	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、eラーニング動画を視聴しての研修、グループワークによる事例検討の実施などにより、次回結果の改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した虐待防止研修に3名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援について考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。 ○医療機関と連携し、施設内で利用者対象の健康診断（7月）、歯科検診（12月）及びインフルエンザ予防接種（11月）を実施した。
4	感染症対応の継続	○基本的な感染症対策を継続した。
5	生活支援員の確保・定着	○新規の採用はなかったが、他施設からの異動で支援員を確保した。
6	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○利用者の私的理由による欠席や退所により平均利用人数は7.8名（前年度比▲1.1名）となった。介護給付費収入は2,344万円（前年度比▲250万円）となった。
7	再編計画の立案	○あかつき園建て替えを踏まえて、再編について検討を進めた。

(3) 今後について

- 利用者の高齢化が進むなかで、引き続き家族・関係機関との情報共有・連携強化に取り組んでいく。
- 利用者の健康維持に向けたサービス提供を進めていく。
- あかつき園建て替えを踏まえた再編について、引き続き検討を進めていく。

(4) 主な活動内容

- ①創作活動（手芸、折り紙、塗り絵、絵画等）
- ②文化活動（音楽鑑賞、ビデオ鑑賞、カラオケ、読書等）
- ③健康活動（健康診断、体重測定、ストレッチ、ウォーキング、バランストレーニング、健康観察、血圧・脈拍測定、歯科検診、インフルエンザ予防接種、保湿剤塗布等）
- ④心身を整えるための活動（足浴、リラックス等）
- ⑤専門職による相談・指導
（作業療法士・嘱託医への相談、看護師による手足爪切り、ダンス指導等）

(5) 在籍者状況（令和8年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
令和7年度	10名	59.4歳	18.9年	86.1%	7.8名	
令和6年度	11名	58.3歳	18.3年	92.8%	8.9名	
令和7年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	2名	4名	4名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<園管理運営事業>

(1) 概要

- 茶道教室、華道教室は毎年受講者が固定されている状況のなか、新規受講者の開拓に向けて広報活動に取り組んだところ、茶道教室、華道教室ともに新たな受講者を各1名迎えることができた。
- 多様な目的での施設利用が増えるなか、利用者アンケートからも利用環境整備の要望があり、女子トイレの修繕（暖房便座の取替等）、会議室の網戸の設置、コピー機の更新、ピアノの更新、玄関・門扉のタイル破損部の修繕等を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○要約筆記講習会を全3回実施して、参加者は45名（前年度比+4名）であった。 ○中級音訳講習会を全10回実施して、参加者は5名（前年度比▲3名）であった。 ○初級手話講習会を全35回実施して、参加者は11名（前年度比▲5名）であった。
2	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○12月に箕面保育園園児の皆さんとの交流（福祉車両体験、クリスマスツリーの飾り付け、演奏会）を実施した。 ○3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。今年度は重度知的障害者にカメラを向けた「道草」の映画上映会を企画・開催し、参加者は24名（前年度比▲33名）であった。
3	茶道・華道教室、各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の新規受講者開拓	<ul style="list-style-type: none"> ○茶道教室（受講者9名）、華道教室（受講者7名）は毎年受講者が固定されている状況のなか、新規受講者の開拓に向けて広報活動に取り組んだところ、茶道教室、華道教室ともに新たな受講者を各1名迎えることができた。
4	館内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な目的での施設利用が増えるなか、利用者アンケートからも利用環境整備の要望があり、女子トイレの修繕（暖房便座の取替等）、会議室の網戸の設置、コピー機の更新、ピアノの更新、玄関・門扉のタイル破損部の修繕等を行った。 ○館内の設備・物品の状態の確認、不要物品の整理を半年ごとに実施した。
5	駐車場の改善の検討・協議	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場スペースの拡大はこれ以上物理的に難しいなか、白線外に駐車する方への声かけなど、混雑緩和や事故防止に向けてできることに引き続き取り組んだ。

(3) 今後について

- 引き続き、各種講習会、地域交流、障害者に関する啓発事業等を継続的に実施していく。
- 引き続き、設備・備品・物品等の管理、更新等の館内環境整備について検討・協議を行っていく。

(4) ささゆり園利用状況

	令和6年度	令和7年度	前年度比
開館日数	317日	319日	100.6%
利用件数	1,575件	1,579件	100.3%
利用件数/日	5.0件	4.9件	98.0%
利用者数	18,988名	20,000名	105.3%
利用者数/件	12.1名	12.7名	105.0%
利用者数/日	59.9名	62.7名	104.7%

事業名	令和6年度		令和7年度		前年度比 (人数比)	
	件数	人数	件数	人数		
障害者社会参加促進事業	39	372	39	420	112.9%	
[内訳]	①茶道教室	20	234	20	266	113.7%
	②華道教室	19	138	19	154	111.6%
ボランティア育成事業	49	639	48	515	80.6%	
[内訳]	①手話講習会「入門・基礎課程」	35	462	35	402	87.0%
	②音訳講習会<令和7年度：中級>	11	107	10	68	63.6%
	③要約筆記講習会	3	70	3	45	64.3%
啓発事業（障害者問題市民講座）	1	57	1	24	42.1%	
貸館事業	1,486	17,920	1,491	19,041	106.3%	
[内訳]	①障害者団体	740	9,918	679	10,195	102.8%
	②ボランティアサークル	398	4,081	442	4,431	108.6%
	③外郭・行政関係	242	3,166	261	3,671	116.0%
	④その他	103	752	108	743	98.8%
	⑤IT室	3	3	1	1	33.3%
合計	1,575	18,988	1,579	20,000	105.3%	

※会議室等使用団体数(令和8年3月31日現在)

- ・定期利用団体：41団体（前年度比 +2団体）
- ・随時利用団体：8団体（前年度比 +1団体）
- 【合計】 49団体（前年度比 +3団体）

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

(1) 概要

- 利用者の身体状況の変化に応じて医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修（実地研修）を3回/年実施し、利用者4名に対して2行為の医療的ケアが新たに実施できるようになった。研修実施により生活支援員等12名が喀痰吸引等を実施できる体制となった。
- 年度途中に利用者2名の退所があり、年度末の利用契約者数は21名（前年度比▲2名）となった。
- 平均利用人数減の影響で介護給付費収入は6,012万円（前年度比▲1,023万円）となったが、指定管理料の増額や職員未確保に伴う人件費減などの結果、収支差額は144万円（前年度比+1,219万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	多様な活動による支援の実施	○5月に4グループに分けて万博記念公園、10月に6グループに分けてカップヌードルミュージアムでの園外活動を実施した。
2	医療的ケア対応の強化	○医療的ケア対応強化のために、一時的に欠員となることもあったが看護師4名/日体制を維持するとともに、支援における訪問看護や医療機関との連携に取り組んだ。
3	入浴支援体制の見直し	○日中活動に重点を置き入浴サービス日や開始時間等を随時調整した。 ○入浴希望者に対して他の社会資源（ホームヘルパー、訪問入浴）の情報提供を行った。
4	現長期計画の未達成項目の取り組み	○業務マニュアルの点検を行い、改訂の有無に関わらず、点検・改訂の検討状況を記録した。
5	介護職員による喀痰吸引等の実施	○利用者の身体状況の変化に応じて、医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修（実地研修）を3回/年実施し、利用者4名に対して2行為の医療的ケアが新たに実施できるようになった。 ○上記研修実施により、生活支援員等12名が喀痰吸引等を実施できる体制となった。
6	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月に法人全体で開催した虐待防止研修のうち、ささゆり園で担当した回には33名（他部署職員含む）の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハットの内容を分析し、その対応について9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに、施設内で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、施設内での歯科検診（6月）、健康診断（7月）、インフルエンザ予防接種（11月）を実施した。
7	感染症対応の強化	○11月に感染症認定看護師による感染症対策研修を実施した。支援現場での感染症対策の取り組みに関する講義と実技による指導を受けて、感染症対策の取り組みの見直しにつなげた。 ○年間を通して職員、利用者ともに感染症の罹患はみられたが、園内で蔓延することはなかった。
8	医療的ケアのある利用者の地域生活支援の検討	○医療的ケアが必要な利用者への支援に関わる訪問看護事業所や医療機関との情報交換・連携に取り組んだ。
9	利用者確保・利用率向上・収入増に向けた取り組み	○年度途中に利用者2名の退所があり、年度末の利用契約者数は21名（前年度比▲2名）となった。 ○利用者の入院等の長期化・重複化に伴い、平均利用人数は11.8名（前年度比▲1.9名）となった。 ○平均利用人数減の影響で介護給付費収入は6,012万円（前年度比▲1,023万円）となったが、指定管理料の増額や職員未確保に伴う支出減などの結果、収支差額は144万円（前年度比+1,219万円）となった。

(3) 今後について

- 医療的ケアニーズもふまえた支援を今後も実施・継続していただけるよう、医療機関、訪問看護事業所、相談支援事業所などとの連携に引き続き取り組んでいく。
- 収支状況の改善に向けて、新規利用者の獲得や利用率向上による収入増、支出削減に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

- ① 行事等（プール、園外活動、忘年会、クリスマス会、年度末イベント等）
- ② 健康活動（エクササイズ、足浴、エアマット、ハンモック、スヌーズレン、健康診断等）
- ③ 創作活動（さをり織り、組み紐、ボードゲーム作成、季節ごとの展示物作成等）
- ④ 文化活動（音楽演奏、カラオケ、コンサート、ボウリング、ボッチャ、園芸活動等）
- ⑤ 屋外活動（個別外出、地域活動、清掃活動等）
- ⑥ 作業活動（空き缶つぶし等）
- ⑦ 専門職による相談・指導（作業療法士・嘱託医への相談、音楽療法等）

(5) 医療的ケアの実施状況（令和8年3月31日現在 利用対象者15名）

内 容		人数	内 容		人数
たんの吸引	口腔内	14名	吸入		6名
	鼻腔内	12名	酸素投与（緊急時含む）		3名
	気管カニューレ内部	10名	人工呼吸器管理		3名
	気管直接	1名	カフアシスト		1名
経管栄養	胃ろう	8名	ブジー		2名
	腸ろう	2名	浣腸（摘便）		2名
	経鼻胃管	3名	留置カテーテル		1名
経管による与薬	胃ろう	6名	導尿		1名
	腸ろう	1名			
	経鼻胃管	2名			
			合 計（延べ人数）		78名

(6) 在籍者状況（令和8年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
令和7年度	21名	39.7歳	12.2年	74.4%	11.8名	
令和6年度	23名	40.9歳	12.1年	73.4%	13.7名	
令和7年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	21名	0名	0名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<施設入浴サービス事業>

(1) 概要

- 利用者1名の長期入院・自宅療養に伴い、給付費収入は116万円（前年度比▲10万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	サービスの質的向上	○ヘルパー3名に対して、利用者の身体状況の変化などに応じて介護技術指導を実施した。
2	入浴設備更新の検討	○普通浴槽など入浴設備の老朽化が進んでいることから、設備の更新について箕面市と協議を行った。
3	入浴支援体制の見直し	○利用者が固定化・長期化するなか、必要に応じて他の社会資源の情報提供や調整を行うが移行する利用者はいなかった。また、新規利用希望者もなかった。
4	入浴ヘルパーの確保	○ホームページ等でスタッフ募集をかけるなど継続的に募集の取り組みを行ったが、入浴ヘルパーの新規採用には至らなかった。 ○入浴ヘルパーだけで対応できない部分は生活介護事業の職員で対応した。
5	利用者増に向けた取り組み	○利用者1名の長期入院・自宅療養に伴い、給付費収入は116万円（前年度比▲10万円）となった。

(3) 今後について

- 入浴設備の点検を行うとともに、箕面市と協議しながら必要に応じて設備の更新を行っていく。
- ヘルパーに対する新任研修及び介護技術指導の実施により、サービスの質の向上を図っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	令和6年度	令和7年度	前年度比
実施日数	243日	242日	99.6%
利用者数	315名	292名	92.7%
利用者数/日	1.3名	1.2名	92.3%

(1) 概要

- 大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
- 令和7年度の修了者数は、延べ37名（全員が当福社会職員）であった。

6. 地域生活総合支援センター

＜共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業＞

(1) 概要

- 第2つながりの家において、令和8年度から利用定員を4名から5名に増員するための申請を行った。
- 現在の入居者状況及び令和6年度報酬改定状況をふまえ、第11つながりの家を現在の日中サービス支援型GHから第2つながりの家と同じ介護サービス包括型GHに事業移行することとして、理事会での承認を得た。
- 入居者の入院等もあったものの、平均利用率は第2つながりの家で91.8%（前年度比+0.6%）、第11つながりの家で97.0%（前年度比▲0.3%）となり、訓練等給付費収入は10,888万円（前年度比+125万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	入居者の高齢化・重度化への対応	○入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図るため、グループホームへの訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・訪問看護を新規で2名・延べ3件導入した。これにより累計で23名が延べ45件の訪問系医療を利用することとなった。
2	余暇支援の充実	○余暇活動計画や個別支援計画に基づき、グループホーム利用者に対する移動支援を年間436件、2,264時間（前年度比▲34件、+113.0時間）実施した。
3	世話人との連携強化	○前年度に引き続き、サービス管理責任者の月1回以上のグループホーム訪問や電話・メールでの連絡を継続的に実施した。 ○世話人会議をほぼ毎月オンラインで開催し、情報共有や研修を行った。
4	虐待防止・サービスの質の向上に向けた取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した虐待防止研修に41名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会となった。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。
5	支援者の確保と定着	○臨時職員1名、登録職員4名、派遣職員7名を新たに確保した。
6	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○365日運営を行っていない3つのグループホームにおいて祝前日運営を計4日間行い、延べ29名が利用した。 ○5月連休時や年末年始における1日あたり平均宿泊者数は15.4名（前年度比+1.3名）となった。 ○入居者の入院等もあったものの、平均利用率は第2つながりの家で91.8%（前年度比+0.6%）、第11つながりの家で97.0%（前年度比▲0.3%）となり、訓練等給付費収入は10,888万円（前年度比+125万円）となった。
7	集約や再整備に関する検討	○第2つながりの家において、令和8年度から利用定員を4名から5名に増員するための申請を行った。 ○現在の入居者状況及び令和6年度報酬改定状況をふまえ、第11つながりの家を現在の日中サービス支援型GHから第2つながりの家と同じ介護サービス包括型GHに事業移行することとして、理事会での承認を得た。 ○各ホームの集約化については検討・物件探しを行ったが、適当な物件の確保には至らなかった。

(3) 今後について

- 令和8年度に実施するグループホームの定員変更及び介護サービス包括型への事業変更が、円滑に進むよう関係者・関係機関との調整を十分に図っていく。
- 重度障害者支援加算算定に向けて、職員の資格取得を推進していく。
- グループホームの集約や再整備について引き続き検討・実施していく。

(4) 在籍者状況（令和8年3月31日現在）

①第2つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和7年度	28名	51.8歳	91.8%	23.6名
令和6年度	28名	50.8歳	91.2%	23.5名

令和7年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	6名	7名	9名	4名	2名	0名

②第11つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和7年度	8名	54.5歳	97.0%	7.8名
令和6年度	8名	53.5歳	97.3%	7.8名

令和7年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	1名	6名	1名	0名	0名	0名

短期入所利用状況	年間延べ利用者数
	0名

6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

(1) 概要

- 居宅介護の年間提供時間は4,424.5時間（前年度比▲77.5時間）であった。なお、この提供時間とは別に、報酬算定ができない無資格者による居宅介護の提供時間が525.5時間（前年度比+176.5時間）あり、前年度比1.5倍となった。
- 登録ヘルパーの確保を目的に、10月より時給の引き上げや通勤手当の支給などの処遇改善を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	GHにおける居宅介護サービスの充実	○居宅介護の年間提供時間は4,424.5時間（前年度比▲77.5時間）であった。なお、この提供時間とは別に、報酬算定ができない無資格者による居宅介護の提供時間が525.5時間（前年度比+176.5時間）あり、前年度比1.5倍となった。 ○通院等介助の提供時間は328.5時間（前年度比+16時間）であった。
2	GHにおける余暇支援の充実	○移動支援の年間の提供回数は482回、提供時間は2,657時間（前年度比▲32回、+121時間）であった。コロナ禍で外出を控えていた利用者が、長時間外出をするようになったことで、1回あたりのサービス提供時間は5.5時間（前年度比+0.6時間）となった。 ○グループホーム利用者に対する移動支援の提供時間は、余暇活動計画や個別支援計画に基づき、提供回数436回、提供時間2,264時間（前年度比▲34回、+113時間）であった。
3	登録ヘルパー等の確保	○女性1名、男性4名の新規登録ヘルパーを確保した。 ○登録ヘルパーの確保を目的に、10月より時給の引き上げや通勤手当の支給などの処遇改善を行った。
4	有資格従事者の確保・育成	○女性1名、男性4名の有資格の新規登録ヘルパーを確保した。 ○登録ヘルパー向けに「虐待防止・身体拘束適正化指針研修」をテーマにした研修会を12～3月に実施し、29名が受講した。
5	収入増に向けた取り組み	○居宅介護の介護給付費収入は3,487万円（前年度比▲53万円）であった。 ○移動支援の介護給付費収入は625万円（前年度比+8万円）であった。

(3) 今後について

- グループホーム入居者のニーズ把握に努め、ニーズを満たす支援計画を提案しながら、引き続きサービス提供を行っていく。
- 有資格従事者を確保し、報酬算定できるサービス提供時間の増加につなげていく。

(4) ヘルパー派遣状況（令和8年3月31日現在）

単位：時間

	居宅介護			身体介護	同行援護
	通院等介助		合計		
	(身体介護なし)	(身体介護あり)			
令和7年度	58.5	270.0	328.5	4,424.5	206.0
令和6年度	56.0	256.5	312.5	4,502.0	201.0

	移動支援		
	I類	II類	合計
	(身体介護なし)	(身体介護あり)	
令和7年度	2,173.5	483.5	2,657.0
令和6年度	2,176.0	360.0	2,536.0

6. 地域生活総合支援センター<相談支援事業>

(1) 概要

- 福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,666件（前年度比+571件）の相談に対応した。
- 年度内で利用契約者数の増減はありながら、年度末時点での利用契約者数は121名（前年度比+4名）となった。
- 前年度採用した資格要件を満たす職員1名が相談支援従事者初任者研修を修了したことで、8月より相談支援専門員として配置した。
- 資格要件を満たす職員1名が、主任相談支援専門員養成研修を受講したことで、3月より主任相談支援専門員配置加算が算定できるようになった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	生活状況の把握及び支援内容の検討	○本人・家族の生活状況等を踏まえてモニタリング期間（間隔）の変更を1名に対して行った。（短縮したケース：1名）
2	困難事例への対応	○困難事例（虐待等）2件について、引き続き家族間の様子の確認や日中活動先との情報共有のもと家族との適度な距離感を持てるようにサービス等の調整を行った。1件は生活環境を安定させるために他市の施設（高齢者との複合施設）入居に至った。もう1件は継続的に家族との距離感を保てるように引き続き支援を行った。 ○家族の高齢化・入院等に伴い、家族に代わって関係機関と調整するケースは依然としてあり、継続的に対応した2名を含めて随時対応を行った。
3	箕面市基幹相談支援センター、市内各事業所（委託相談、特定相談）との連携	○基幹相談支援センター等から依頼のあったケースについて、面談等と同行するとともに直接的対応（当事業所が計画相談として継続して対応：2名）または間接的対応（一般相談として対応：4名）を行った。 ○箕面市自立支援協議会相談支援部会にて「基幹相談支援センター」「委託相談支援」「特定相談支援」のそれぞれの役割を明確にしたこと及び各関係機関との連携を深めた結果として、一般相談（委託相談としての案件）での相談の件数が前年度比+571件となった。 ○相談支援従事者研修のインターバル研修について、依頼を受けてスーパーバイズの対応を行った。（初任者研修：1名、現任研修：1名）
4	重層的支援体制の中での多機関連携（特に高齢分野との協働）	○箕面市自立支援協議会相談支援部会を通じて、高齢分野の機関（地域包括支援センター及び介護支援専門員との勉強会に出席）との関係強化を図った。
5	支援の質的向上	○多職種連携を必要とするケースへの実践（児童、生活困窮、高齢等様々な分野との繋がる機会に積極的に参加）を通じて知識・経験を蓄積し、今後の事例に活かせるよう努めた。
6	相談支援専門員の確保	○前年度採用した資格要件を満たす職員1名が相談支援従事者初任者研修を修了したことで、8月より相談支援専門員として配置した。
7	業務体制の見直し	○相談支援システムを導入し、運用していくなかで業務の改善・効率化を図った。また、定期的な情報共有のための会議（週1回）を開催し、効率的かつ効果的な業務の進行を心掛けた。
8	収入増に向けた取り組み	○福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,666件（前年度比+571件）の相談に対応した。 ○年度内で利用契約者数の増減はありながら、年度末時点での利用契約者数は121名（前年度比+4名）となった。 ○利用者本人の状況やサービス等利用時の状況を直接確認するため、個々人の状況に応じて訪問を行った。これによりモニタリング311件のうち47件においてモニタリング加算を算定した。また、ケースに応じて担当者会議を14件開催して担当者会議加算を算定した。 ○資格要件を満たす職員1名が、主任相談支援専門員養成研修を受講し、3月より主任相談支援専門員配置加算を算定できるようになった。 ○計画相談支援給付費収入は846万円（前年度比+162万円）となった。

(3) 今後について

- 重層的支援体制のなかでの多機関連携が重要となってくるため、相談支援事業所同士（相談支援専門員同士）のヨコの繋がりはもとより、箕面市自立支援協議会を含め他機関とつながりを持てる機会には積極的に参加し、顔の見える関係づくりに努めていく。
- 困難事例への対応については、関係機関と連携し多様な観点からの生活支援策（障害福祉サービスに限らず）を中心に検討していく。

(4) 相談状況（令和8年3月31日現在）

①相談経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	46 (0)	163 (0)	191 (1)	49 (0)	449 (1)
来所	5 (0)	90 (0)	97 (2)	21 (0)	213 (2)
同行	7 (0)	26 (0)	19 (0)	4 (0)	56 (0)
電話	62 (0)	352 (0)	333 (12)	119 (1)	866 (13)
電子メール	2 (0)	9 (0)	10 (0)	6 (0)	27 (0)
個別支援会議	1 (0)	12 (0)	8 (1)	0 (0)	21 (1)
関係機関	1 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	8 (0)
その他	3 (0)	12 (0)	10 (0)	1 (0)	26 (0)
合計	127 (0)	667 (0)	671 (16)	201 (1)	1,666 (17)

※（ ）内は児童の相談件数

②相談内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	75 (0)	369 (0)	441 (12)	124 (0)	1,009 (12)
障害・病状の理解	0 (0)	93 (0)	63 (1)	12 (0)	168 (1)
健康・医療	13 (0)	73 (0)	37 (0)	4 (0)	127 (0)
不安解消・情緒安定	1 (0)	41 (0)	48 (1)	20 (0)	110 (1)
家族関係・人間関係	15 (0)	44 (0)	42 (1)	5 (1)	106 (2)
家計・経済	7 (0)	2 (0)	7 (0)	5 (0)	21 (0)
生活技術	9 (0)	21 (0)	12 (1)	5 (0)	47 (1)
就労	0 (0)	1 (0)	4 (0)	17 (0)	22 (0)
社会参加・余暇活動	7 (0)	12 (0)	6 (0)	5 (0)	30 (0)
権利擁護	0 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	7 (0)
その他	0 (0)	8 (0)	8 (0)	3 (0)	19 (0)
合計	127 (0)	667 (0)	671 (16)	201 (1)	1,666 (17)

※（ ）内は児童の相談件数

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	地域生活総合支援センター	9件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計		9件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	5件	内容 転倒 原因 環境不備、 利用者の状況把握不足	安全配慮の徹底 環境整備 利用者の行動予測
	わんすてっぷ	2件	内容 骨折、裂傷 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	安全配慮の徹底 障害特性に関する支援
	地域生活総合支援センター	6件	内容 打撲、裂傷 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援 スキルの向上
合計		13件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	6件 (うち対職員1件)	内容 叩く、噛む 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	座席位置の変更 安全配慮の徹底 環境整備 利用者の行動予測
合計		6件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
自傷行為による怪我		0件		
合計		0件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
器物損壊	あかつき園・ワークセンター ささゆり	1件	内容 携帯電話の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	環境整備 利用者の行動予測
合計		1件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
無断外出 (所在不明)		0件		
合計		0件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
車両事故	あかつき園・ワークセンター ささゆり	8件	内容 対物接触、車両接触 原因 確認不足	安全運転の徹底 事故時対応の徹底
	ささゆり園	1件	内容 脱輪 原因 確認不足	安全運転の徹底
合計		9件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり)	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎漏れ 2件 ・給食異物混入 1件 ・アレルギー食除去忘れ 1件 ・健康診断時の情報共有誤り 1件
	(わんすてっぷ)	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧による不調 1件
	(ささゆり園)	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎遅れ 1件 ・ハンディファン充電ケーブル破損 1件 ・吸引機落下 1件
	(地域生活総合支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・火災報知器発報 1件 ・衣服紛失 1件 ・郵便物誤入 1件

② 苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
地域生活総合支援センター	1件	入居者の予定管理に関するもの	コミュニケーション不足 職員の確認不足	情報共有の徹底 相互確認の徹底
合計	1件			

③ ヒヤリハット

部署	件数	内容	件数内訳
あかつき園・ワークセンターささゆり	201件	<ul style="list-style-type: none"> * 自傷行為・他傷行為に至る恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 器物破損の恐れがあった事案 * その場から移動できない恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れがあった事案 * 送迎間違いになる恐れがあった事案 * 給食配膳間違いに繋がる恐れがあった事案 * その他の事案 	109件 31件 23件 10件 5件 2件 2件 1件 18件
わんすてっぷ	1件	* 転倒・転落の恐れがあった事案	1件
ささゆり園	52件	<ul style="list-style-type: none"> * 事故等に繋がる恐れがあった事案 * 物品忘れ・紛失に繋がる恐れがあった事案 * 身体症状に影響する恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 所持品破損に繋がる恐れがあった事案 * 転倒の恐れがあった事案 * 利用者の予定に変更を生じさせる恐れがあった事案 	17件 15件 6件 5件 4件 3件 2件
地域生活総合支援センター	102件	<ul style="list-style-type: none"> * 利用者の日常生活に不便を与える恐れがあった事案 * 誤薬・服薬漏れに繋がる恐れがあった事案 * 身体症状に影響する恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 利用者に経済的不利益を与える恐れがあった事案 * 利用者の予定に変更を生じさせる恐れがあった事案 * 利用者同士のトラブルになる恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 現金帳の金額に誤差が生じる恐れがあった事案 * 個人情報漏洩する恐れがあった事案 * 利用者が不穏になる恐れがあった事案 	20件 19件 16件 13件 9件 6件 5件 5件 3件 3件 2件 1件
合計	356件		

8. 地域参加・交流状況

(1) クリーン・みのお作戦（主催：箕面市）

開催日 6月8日（日）
参加場所 瀬川：西南小学校周辺、西小路：芦原公園、新稲：GH周辺
参加利用者 瀬川：1名、西小路：2名、新稲：9名
職員従事者 瀬川：2名、西小路：2名、新稲：7名
内容 公園・道路などの清掃

(2) ふれあいバザー（主催：大阪ガスネットワーク株式会社）

開催日 5月30日（金）、10月17日（金）、2月5日（木）
参加場所 大阪ガスビルディング
参加利用者 延べ8名
職員従事者 延べ8名
内容 野菜販売、さをり・指編み製品販売、指編みワークショップ

(3) 西南ちいきみんな食堂（主催：西南地域みんな食堂）

開催日 9月28日（日）
参加場所 西南小学校
職員従事者 4名
内容 さをり織り体験・指編み体験

(4) あかつきまつり（主催：あかつき福祉会）

開催日 11月1日（土）
実施場所 瀬川地区敷地内
来場者 252名
協力団体 8団体
職員従事者 44名（ボランティア含む）
内容 車いす体験、抽選会、ゲームコーナー、授産製品販売など

(5) いきいきふれあい広場（主催：西南小地区福祉会）

開催日 11月16日（日）
参加場所 西南小学校
参加利用者 1名
職員従事者 6名
内容 さをり・指編み製品販売

(6) みんなおいでよ運動会（主催：西南小校区青少年を守る会）

開催日 12月7日（日）
参加場所 西南小学校
職員従事者 6名
内容 運動会運営、競技参加

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者	講師
5月12、19、26日	入職時研修	8名	当福社会職員
7月～2月 計3回	事例検討会	28名	当福社会職員
6月21日	正規職員研修（BCP研修）	15名	佛教大学講師
9月26日	防犯訓練	10名	箕面警察署
11月26日	感染症対策研修	13名	箕面市立病院
12月～1月 計9回	虐待防止研修	117名	当福社会職員
1月～2月 計4回	普通救命講習	13名	当福社会職員
3月11日	腰痛予防研修	22名	嘱託作業療法士
合 計		226名	

(2) 事業・施設別外部研修参加状況

※人数は延べ人数

部署	令和6年度	令和7年度
法人本部	7名（6件）	8名（4件）
あかつき園・ワークセンターささゆり	10名（7件）	15名（8件）
わんすてっぷ	2名（1件）	0名（0件）
ささゆり園	24名（7件）	9名（2件）
地域生活総合支援センター	15名（6件）	43名（21件）
合 計	58名（27件）	75名（35件）

部署	研 修 内 容
法人本部	DX研修会、防災研修会、地域協同研修会、箕面市人権セミナー など
あかつき園・ワークセンターささゆり	安全運転管理者講習、サービス管理責任者更新研修、箕面市人権セミナー 意思決定支援を問い直す、個々防護服について など
ささゆり園	安全運転管理者講習、箕面市人権セミナー など
地域生活総合支援センター	相談支援従事者初任者研修（7日課程）、相談支援従事者初任者研修（2日課程） サービス管理責任者等基礎研修、職員の離職防止のための研修、精神保健福祉 業務従事者研修、知的障がいのある方のトラウマインフォームドケアについて 精神科医が教える働くために必要なこと、窃盗回避支援を学ぶ研修、感染管理 ネットワーク支部交流会、同行援護従業者養成研修応用課程、同行援護従業者 養成研修一般課程、主任相談支援専門員養成研修、強度行動障がいに対する成 人期の支援、依存症相談対応、介護支援専門員向け障害福祉制度に関する勉強 会、相談支援従事者研修（専門別）、依存症相談対応、法的な課題のある障害 者（被後見人等）の支援について、箕面市人権セミナー など

※部門内研修は別途実施

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目的
ささゆり園	箕面支援学校	3名	3日	施設体験実習
	合計	3名	3日	

(2) その他

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	大阪大学	5名	25日	介護等体験
	関西大学	4名	20日	介護等体験
	箕面市職員	5名	11日	福祉体験研修
	大阪府社会福祉協議会	2名	2日	職場体験
ささゆり園	箕面市職員	3名	7日	福祉体験研修
	合計	19名	65日	

11. ボランティア受入状況

施設・事業	受入内容	受入回数	延べ受入者数
法人本部	あかつきまつり	1回	5名
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	農園	70回	119名
	所外活動の写真撮影	1回	1名
	イベント（マジック）	1回	2名
ささゆり園	紙芝居・演奏	12回	25名
	音楽コンサート	4回	21名
	合 計	89回	173名

12. 視察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	新規入職内定者	1名	施設見学
	西南小学校	4名	施設見学
	西南小学校（児童）	117名	施設見学
ささゆり園	箕面支援学校	4名	施設見学
	箕面保育園	27名	地域交流
	いろはもみじ萱野	3名	施設見学
	寄附者	1名	施設見学
	就職希望者	7名	施設見学
合 計		164名	

(2) 視察・見学実施状況

施設・事業	視察・見学先	人数	目的
法人本部	いろはもみじ萱野	4名	施設見学
ささゆり園	いろはもみじ萱野	5名	施設見学
	特別養護老人ホーム白島荘	2名	利用者情報引き継ぎ
地域生活総合 支援センター	アルク西淀川	1名	施設見学
	西宮グリーンハンド	1名	施設見学
	アルク豊中原田南2号館	1名	施設見学
	ファミリア吹田	3名	施設見学
	いろはもみじ萱野	3名	施設見学
合 計		20名	

13. 講師派遣状況

施設・事業	派遣先	件名	派遣講師
地域生活総合支援センター	大阪府	相談支援従事者初任者研修 (インターバル研修におけるスーパーバイズ)	葛西 則人
	大阪府	相談支援従事者現任研修 (インターバル研修におけるスーパーバイズ)	葛西 則人
	箕面市	介護支援専門員向け障害福祉制度に関する勉強会	葛西 則人

14. 役員名簿

(1) 理事

令和8年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	奥村 一郎	箕面ライオンズクラブ	会員	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	井上 芳明	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	岩崎 昭司	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	事業区域の福祉に通じる者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		事業区域の福祉に通じる者
理事	長谷川 千波	箕面市健康福祉部	担当副部長	事業区域の福祉に通じる者
理事	木村 勝也	社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団	事務局長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	福田 寛久	社会福祉法人あかつき福祉会 わんすてっぷ	所長	施設管理者

(2) 監事

令和8年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	大倉 英樹	社会福祉法人慶徳会	事務局長	社会福祉事業の識見を有する者
監事	阪上 義峰	箕面市会計室	会計管理者	財務管理の識見を有する者

(3) 評議員

令和8年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	梅田 訓子	西南小地区福祉会	副会長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	副局長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	入江 真矢	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス	所長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人息吹	理事長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	亀谷 雅彦	元 社会福祉法人あかつき福祉会 職員		法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	木村 知也	箕面ロータリークラブ	会長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	新田 昇司	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	副園長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	樫原 淳子	箕面市肢体不自由児者父母の会	会長	法人の適正な運営の識見を有する者

(4) 評議員選任・解任委員会委員

令和8年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員 選任・解任 委員会委員	大倉 英樹	社会福祉法人慶徳会	事務局長	監事
評議員 選任・解任 委員会委員	東 有希子	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立あかつき園・ワークセンター ささゆり、地域生活総合支援センター	所長	事務局員
評議員 選任・解任 委員会委員	栢山 功介	NPO法人ラポール	理事	外部委員

(5) 運営協議会委員

令和8年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
運営協議 会委員	名淵 須和子	箕面手をつなぐ親の会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	久代 美津恵	箕面市身体障害者福祉会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	幹事	地域の代表者
運営協議 会委員	山本 雅子	箕面市赤十字奉仕団	常任理事	地域の代表者

16. 職員内訳

令和8年3月31日現在

部 署	正規職員	支援職員	臨時職員	合 計
法人本部	2名	2名	1名	5名
あかつき園・ワークセンターささゆり	7名	17名	30名	54名
わんすてっぷ	1名	1名	0名	2名
障害者福祉センターささゆり園	2名	7名	8名	17名
地域生活総合支援センター	3名	10名	12名	25名
合 計	15名	37名	51名	103名

注) 臨時職員数には送迎車運転・添乗等の短時間勤務職員を含み、派遣職員24名、登録職員25名(実質稼働者)は含まない。